

第 2 学 年 算 数 科

教 科 目 標

具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解を深めるとともに、加法及び減法の意味について理解を深め、用いることができるようにします。また、乗法の意味を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにします。

具体物を用いた活動などを通して、長さの単位や測定についての理解ができるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにします。

具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層重ね、図形についての感覚を豊かにします。

学 習 計 画

月	単 元 ・ 題 材 名	時 間	学 習 活 動
4	ひょうとグラフ	6	・簡単なことからを分類して、それを数を用いて表やグラフに表す。
5	1000までの数	10	・1000までの数についてその表し方を理解し、数の概念について理解を深めるとともに、数を用いる。
	たし算のひっ算	11	・筆算形式による2位数の加法計算のしかたについて理解し、それを適切に使う。
6	ひき算のひっ算	11	・筆算形式による2位数の減法計算のしかたについて理解し、それを適切に用いる。
7	いろいろな形	6	・色板や棒を使っていろいろな形を構成する活動を通して、図形についての理解の基礎となる経験を豊かにする。
	とけい	2	・時刻に関心を持ち、時刻を読む活動を通して、時刻についての理解の基礎となる経験をする。
	ふくしゅう	2	・1学期の学習内容を復習する。
9	たし算とひき算 (1)	6	・求大、求小、異種の数量、順序数についても加減計算が適用できることを理解し、それを用いる。
	長さ (1)	10	・長さの比較などの活動を通して、長さの概念や測定、及びその単位についての理解を深める。
10	アラカルト	6	・いろいろな問題を解く。
	かけ算 (1)	7	・乗法の意味や立式のしかたを理解する。
11	かけ算 (2)	14	・乗法の意味について理解し、それを用いる。
12	かけ算 (3)	7	・乗法の意味について理解し、それを用いる。
	かけ算 (4)	8	・乗法に関して成り立つ性質を調べ、乗法についての理解を深める。
	ふくしゅう	4	・2学期の学習内容を復習する。
1	長さ (2)	7	・長さの測定を通して、長さの概念や測定、および単位についての理解を深める。
	1000より大きい数	10	・10000までの数についてその表し方を理解し、数の概念についての理解を深めるとともに、数を用いる。
2	三角形と四角形	10	・直線や三角形、四角形の概念を理解する。
3	たし算とひき算 (2)	6	・逆思考の問題解決を通して加減の相互関係について理解しそれを用いる。
	アラカルト	6	・いろいろな問題を解く。
	2年のまとめ	6	・1年間の学習内容を復習する。
授業時数の合計			155時間

算 数 科 の 評 価 は

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
関心・意欲・態度	・数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもととするとともに、知識や技能などを進んで用いようとしているかどうかという観点からみます。	・学習の様子
数学的な考え方	・算数的活動を通して、数理的な処理に親しんでいるかどうかという観点からみます。	・ノート
数量や図形についての表現・処理	・整数の計算が確実にでき、それを用いるとともに、もの大きさを測定したり、ものの形を観察したり構成したりしているかどうかという観点からみます。	・学習プリント
数量や図形についての知識・理解	・数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方、整数の計算の意味及び量の単位と測定の意味を理解し、図形についての理解の基礎となる経験を重ねているかどうかという観点からみます。	・テスト など総合的に評価します。

